

馬っこパーク・いわて～

乗馬を中心にアニマルセラピーと 青少年育成や地域住民との交流を目指す

「NPO法人 乗馬とアニマルセラピーを考える会」
理事長 山手 寛嗣 さん



団体の、活動ノウハウを公開する

活動 なう

[第3回]



▲山手理事長(右から2人目)とスタッフの皆さん



▲馬っこパーク・いわて

馬っこパーク・いわて

乗馬・ふれあい体験・ホースセラピーの実践・障がい者、生活保護、ニート者を支援する活動(作業所の提供、雇用による支援)、被災者支援等を行っている。年間利用者は3万人程度。

開園時間

9:00～16:30

入場料

無料

休館日

毎週水曜日(障がい者乗馬に特化して実施するため)

馬っこパーク・いわてとは

前身のポニースクール岩手は、平成元年4月、青少年健全育成、乗馬振興、スポーツ・レクリエーションの推進を目的に岩手県が開設し、青少年を中心に乗馬教室、ポニー教室、ポニーキャンプ等の事業を実施して来た。このポニースクール岩手が廃止されることが決まったため、ここに残される沢山の馬や、立派な施設のことを考え、平成20年度に、急速、NPO法人「乗馬とアニマルセラピーを考える会」を立ち上げ、ポニースクール岩手の借受人となり、名称を「馬っこパーク・いわて」と称して、同施設の維持管理とホースセラピーを始め、乗馬・福祉・観光・教育・馬事振興・地域活性化を柱にその拠点施設として多目的に活用している。

アニマルセラピーとは

当法人では、入園無料で施設を開放している。馬・山羊・ウサギとのふれあいを中心にアニマルセラピーを実践し、毎週水曜日には障がい者乗馬に加え高齢者の乗馬を実施している。

心や体の治療としてのアニマルセラピーの中でも、馬はふれあうだけでなく、乗ることが出来る特別な動物で、それゆえ効果が高く、ドイツでは医療保険の適用対象になっている。幼児期に動物とのふれあいを体験することで、社会性、自



▲障がい者乗馬 タズナを執って馬の誘導

立性が育まれ他人に対する思いやりの心やいたわりの心が形成されるとされている。近年の児童の心の育成と被災地の現状を見ると、緊急に必要とされる事業であり、ホースセラピーの新しい展開が若手で実現出来ることは、広く社会に展開される可能性を持っている。また、それは当法人が社会に役立つことができる最前線でもある。

実際、被災地に赴くと、ホースセラピーによって、お年寄りや子供達がどんどん笑顔になり元気になっていく姿を見ることが出来る。それによって、逆に我々が元気をもらっていることに気付かされる。

ホースセラピーの効果

①精神的効果

馬は群れで行動する社会性を持ち、人に従順で心優しい動物だ。ただ草食動物としての性質上、怖がりな部分があるため馬の気持ちを考えて世話をする必要があり、そこではじめて、馬と気持ちが通い合う喜びが生まれる。

○自尊心や達成感を育む ○信頼感や対人関係・強調性の向上 ○日常生活